

TOM'S SPIRIT

スーパー耐久シリーズ 2017
オートポリス
2017年7月15日(土)

予選

天候:晴れ



7月15日(土)に、今シーズンの折り返しとなる第4戦の予選が、オートポリスにて開催された。今回は、2グループに分かれての土曜予選、日曜決勝となる。

- Aドライバー松井選手が、前戦鈴鹿同様1ラップだけの完璧なアタックで、クラストップタイムをマークする。
- Bドライバー蒲生選手も、完璧なワンアタックでクラストップタイムとなる。
- 2人だけが2分4秒台という、A・Bドライバー合算タイムにより、2番手に約2秒の差をつけ、今シーズン3度目となるポールポジションを獲得する。
- Cドライバー坪井選手は、今戦も決勝を見据えた状態での確認作業を行うも、クラストップタイムで予選を終える。

ドライバー	車番	クラス順位	ベストタイム
松井孝允	86	1位	2'04.605
蒲生尚弥			2'04.652
坪井 翔			2'05.573

気温	26.4℃
路面温度	54.0℃



松井孝允【Aドライバー】

フリー走行からマシンの調子がすごく良かったので、予選も上手く行って良かったです。蒲生選手のいいアタックでポールポジションが取れたので、明日の決勝が楽しみです。坪井選手でのロングランの確認もしっかりできたので、決勝も頑張ります。

蒲生尚弥【Bドライバー】

車の状態が前日から調子いいので、それを出し切る事ができました。明日の決勝も頑張ります。

坪井 翔【Cドライバー】

A・Bドライバーの予選タイムでもマシンの調子が良かったです。僕は決勝シミュレーションとして走ったのですが、そこでもトップタイムでペースも良かったので、決勝に向けて好調を維持したまま、明日も頑張ります。

三塚 隆【チーム代表/監督】

持込みセッティングから車両のバランスが良く、予選シミュレーションでも良いタイムが出て予選に望めました。松井選手のアタックでは、他車に引っかけりコンマ2~3秒ロスしましたが、クラストップタイム。蒲生選手もクラストップタイム。Cドライバーの坪井選手はレースシミュレーションでガソリンを多めに積んでましたが、クラストップタイム。A・B・Cドライバー全ての予選でトップタイムは初めての事で、チーム全員嬉しく思っています。

TOM'S SPIRIT

スーパー耐久シリーズ 2017
オートポリス
2017年7月16日(日)

決勝

天候:曇り時々晴れ



前日までは、日差しが痛い程だったオートポリスも、決勝日スタート進行時は、曇り。最終コーナー側から霧が迫ってきたものの、フォーメーションラップの頃には、時折日が差し込み予定通りスタートが切られた。

- 松井選手はポールスタートからトップを守り1コーナーへ。1周終了時点で、2番手を1.6秒引き離す事に成功。その後4秒近くのマージンを築いたまま、坪井選手へドライバー交代。
- 通常はタイヤ無交換となるが、タイヤに厳しいオートポリスに合わせタイヤ4輪交換と給油をしピットアウト。
- ハイペースで周回を重ねた坪井選手は、後続車との差を約30秒に広げ、蒲生選手にドライバー交代。
- 蒲生選手は後続車とのタイム差を見ながらペースをコントロールし走行。そのマージンを保ったまま、3連勝を飾った。

ドライバー	車番	クラス順位	ベストタイム
松井孝允	86	1位	2'04.947
蒲生尚弥			2'06.216
坪井 翔			2'05.277

気温	22.6℃
路面温度	30.9℃



松井孝允【Aドライバー】

ウェイトが重たい中、チームが考えてくれた作戦が上手く行き、坪井選手にトップでバトンを渡せたので良かったです。坪井選手、蒲生選手も安定して速かったので、チーム、ドライバー共に100点のレースでした。次の富士でチャンピオンを決められるように頑張ります。

蒲生尚弥【Bドライバー】

松井選手と坪井選手が貯金をいっぱい作ってくれたので、最後まで走り切るだけでした。早い車を用意してくれたチームに感謝しています。次のレースもミス無く走りきりたいです。

坪井 翔【Cドライバー】

松井選手からトップでバトンタッチしてもらって、僕の役目は1秒でも多くリードを作る事だったので、その仕事をきちんとこなせて良かったです。次の富士次第ではチャンピオンも見えてくるので、気を抜かず富士でも勝てるように頑張ります。

三塚 隆【チーム代表/監督】

前日までタイヤライフで悩んでいましたが、作戦を変更してタイヤ4輪の2回交換にしました。4輪交換にした事でのタイムロス、ドライバー全員がコース上で稼いでくれました。ドライバーに感謝しています。次戦、富士はストレート速度が遅い86号車には不利な状況ですが、優勝を狙って頑張ります。